

徒弟的学習形態における差異化への子どもの葛藤と受容

— お囃子の学習における地位形成に着目して —

本 山 方 子

(お茶の水女子大学大学院人間文化研究科)

1. 問 題

子どもの生活において、遊びを構成する集団の異年齢の幅は狭くなり、伝承が起きにくくなっている(小川,1991)。学校教育のように、平等な関係性と公平な機会を前提とする学習に慣れている子どもは、学校外の伝承のための学習において、関係性や学習機会の差異化に対し、どのように葛藤と受容を示すのだろうか。本研究では、お囃子の学習における徒弟的学習形態で明確になる差異化に対し、子どもが引き起こす葛藤と受容を明らかにする。

2. 方 法

分析対象：首都圏の小学校における生涯学習の講座として月1回2時間弱継続的に行われるお囃子の集団学習。3年間のべ38回。学習者は会場校に通学経験のある小学1年生～中学2年生までのべ19名及びその母親2名。指導者は地元市内に居住する里神楽の家元。他の主な参加者は学芸員、会場校の教師、調査者など。
調査方法：フィールドワークに加え、3年経過時における質問紙調査、随時のインタビュー。

学習の進行：指導者が示す「唱歌」を学習者が書き写し、唱和しながら演奏し、新曲を学習する。内容は、仁羽、四丁目など祭り囃子などの太鼓の手。1回の稽古では、10分程度の休憩をはさみ20分前後の練習を3～4回行う。楽器は、締太鼓2台、大太鼓1台、鉦1台のほか、丸太で作られた練習台が人数分用意される。

分析：主に、エピソード中心の事例の解釈による。

3. 結果と考察

徒弟的学習形態の創出過程：導入時は、全員が練習台を用いて指導者と向かい合わせて稽古を行った。2回目より徐々に楽器(太鼓)が導入されたが、初年度前半はまだ交替で太鼓を練習した。太鼓を中心にしたコの字型向かい合わせの形態は5回目頃より度々組まれるようになる。指導者の指示により、3台しかない太鼓の担当者が徐々に特定されてくるのは初めての発表会を目前にした6回目頃の稽古であった。稽古中も太鼓の担当者が特定化され、太鼓を囲むように残りの子ども用の丸太の練習台が配置される形態が定着してくるのは、新曲の学習が続く2年目の前半である。この頃になると、指導者の指導自体が太鼓を担当する3名の子どもに向けられる。太鼓を担当する者とそうでない者との間で、指導を受けたり楽器にふれる機会の多少や、中心となる者と周辺に位置する者という関係性の

上下の点で差異化がはかられており、徒弟的学習形態が創出された。この学習形態について、指導者は子どもの能力差を認めた上で「演奏のできる子にひっぱってもらおう」という学習上の必要性を話している。

子どもの関係性の変化：初年度には、休憩時間に異年齢集団で遊び、名前の方で呼び合う親密な関係性が築かれた。徒弟的学習形態の定着とともに子ども間での教え合いがみられるようになり、2年目以降、太鼓担当の子どもが進行の主導をとって稽古を進めたり、新参者に対し古参の子どもが自発的に教えることもあった。同等を前提とした当初の関係性が、中心的地位と周辺の地位、リードする者とされる者に分化した。

子どもの葛藤：周辺の地位の太鼓を担当しない子どもからは、徒弟的学習形態が定着すると、自分を卑下する声や、自分と同学年の太鼓担当者へのねたみやうらやみの声が出された。ただし、指導者に直接不満が示されることはない。一方、太鼓担当者は、稽古が始まっても指示があるまで太鼓側に座らなかつたり、指導者に対して太鼓を叩くことへの辞意を示したりした。リーダーの子どもは、太鼓を担当しない者も「やりがいのある役割」が与えられることを望む。担当者は、自分だけが取り立てられることに葛藤し、他の子どもとの同等性を示し、太鼓側に座るのは自分の意志ではなく指導者の指示によることを示したいのだろう。

子どもの受容：徒弟的学習形態の定着に従い、担当者以外が稽古時間外に太鼓をたたくことが少なくなり、太鼓担当の地位が特殊化された。質問紙調査では、太鼓担当の未経験者9名中8名が「太鼓をたたいてみたい」と回答し、太鼓の担当は地位が高く、「あこがれ」の対象とされている。3年目に起きた世代交代で新たに太鼓担当に選ばれた子どもは喜びを語っている。また、太鼓の担当は演奏を間違わないという責任を担った存在として認識されており、それ故に担当することへの希望が分かれる。子どもは太鼓の担当をめぐる地位形成を理想自己と現実自己の分化として受容している。

子どもは徒弟的学習形態の差異化に対し、平等性や機会均等の論理に照らし自分の地位に応じて葛藤を起こすが、太鼓担当の地位を「あこがれ」の対象とすることで受容をはかる。しかし、まだ中心的地位の者へのモデリング行為は顕在化せず、理想自己になるための方途をもたぬまま、学習個体として稽古に参加しているといえよう。